

「CEATEC2025」にてアイトラッキング技術を搭載した レーザアイウェアを展示します

株式会社 QD レーザは、10 月 14 日(火)から開催される CEATEC 2025 に出展し、次世代網膜投影型レーザアイウェアのプロトタイプを展示いたします。視線追従システム、薄型グラスといった新しい技術を搭載した AR(拡張現実)グラスを体験頂けます。TDK 株式会社との共同開発により、同社の超小型フルカラーレーザモジュールを採用しています。

【CEATEC 2025 概要】

- 日時: 10 月 14 日(火)～17 日(金) 10:00～17:00
- 会場: 幕張メッセ(アクセス: <https://www.m-messe.co.jp/access/>)
- 概要: CEATEC 2025 公式ページ <https://www.ceatec.com/ja/>
*ご来場には事前登録が必要です。公式ページからご登録ください。

■出展場所: ブース番号 2H016

■展示内容: 網膜投影型レーザアイウェア(AR タイプ)[アイトラッキングあり/なし]

*デモ機の数に限りがあるため、相当の待ち時間が予想されます。お時間には余裕をもってお越しください。混雑の状況によっては整理券を配布し、体験人数を制限する可能性があります。商談をご希望の方は、あらかじめ問い合わせ先までご連絡ください。

【視線追従システム】

従来の網膜投影技術では、レーザ光を瞳孔の中心に正確に通す必要があります。装着時のフィッティングが不可欠でした。さらに、目を動かすと映像が欠けたり消えたりするという使い勝手の課題がありました。

新しい視線追従システムは、装着者の瞳孔位置をリアルタイムで検出し、それに追従するように投影を制御します。これにより安定して映像を見ることができるようになりました。この技術の導入により、投影視野角を広げても*画面の隅々まで鮮明に見ることが可能になります。

*今回展示するアイウェアの投影視野角は水平約 40 度です。



【薄型 AR グラス】

薄型レンズを搭載した AR グラスのプロトタイプを体験頂けます。レンズが薄くなることで、網膜投影の特長を活かしながら、設計自由度、軽量化、装着感といった多くの課題の改善に寄与します。



【AR 体験機】

フル HD(1080P)の高解像度、FOV60°の広い視野角で、AR 視を体験頂けます。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール: vid-sales@qdlaser.com